

令和5年度事業報告

1. 事業概要

令和5年度は、原材料費の高騰や円安の影響から、食料品や家事用品など幅広い品目で価格が上昇し、全国の消費者物価指数が第2次オイルショック以来、41年ぶりに3.1%を記録しました。また、5月にコロナが感染症法上の5類相当に引き下げられたことから、様々なイベントがほぼ制限なしで開催されるなど、コロナ禍からの回復途上の年となりました。

当センターとしてもシルバーフェアやスケート教室、各種講習会を4年ぶりに開催し、動物園の開園前清掃ボランティアに参加するなど、コロナ前の状況に戻りつつあります。

こうした中、国における高齢者の雇用を取り巻く情勢としては、今年度の高齢社会白書において年齢階級別就業率は10年前と比較すると60歳から64歳では15.3ポイント、65歳から69歳では13.7ポイント、70歳から74歳では10.5ポイントそれぞれ伸びています。また、令和3年4月に施行された改正高年齢者雇用安定法では、事業主に対し70歳までを対象として、従来の雇用による措置や「継続的に業務委託を締結する制度」、「継続的に社会貢献できる制度」という雇用によらない措置のいずれかの措置を講ずるように努めることを義務付けるとしており、従業員21人以上の企業で70歳までの高年齢者就業確保措置を実施済みの企業は、27.9%となっています。

当センターにおいては、高齢者の再雇用、定年延長等が進み、新型コロナウイルスの影響もあって、受注件数、入会者が減少し、会員の高齢化等による退会に歯止めが利かず、会員数が減少し続け、ピーク時の半数以下の状況となっています。

これらの状況を踏まえ、就業先の拡大に向け関係機関と連携を図りながら帯広市に対し財政支援と事業発注の確保に向けた要請を行うとともに、経費節減に努めました。

安全・適正就業の取組みとして、安全就業だより、生き生きを通じた啓発を行いました。残念ながら賠償事故が発生しました。

課題である会員の入会促進、就業機会の拡大に向けては、地元マスメディアの番組に出演して啓発を行ったほか、関係団体のイベントへの参加や、ごみ収集カレンダーや市町連だよりなどに有料広告を掲載し、普及啓発事業を行いました。

以下、令和5年度の事業実績は次のとおりです。

	令和5年度	令和4年度	増△減
正会員数	405人	439人	△ 34人
受注件数	4,057件	4,216件	△ 159件
契約金額	148,318,575円	151,087,901円	△2,769,326円

2. 事業実施状況

(1) 会員の増強

新入会員説明会を毎月開催しており、退職時期に重なる3月から5月には毎週開催しました。

社協フェスタ&わいわいタウンには参加しましたが、とまちプラザまつり及びみんなの消費生活展は、規模を縮小して実施されたため参加できませんでした。

市役所本庁舎をはじめ、大正・川西支所、コミュニティセンター、福祉センターなど公共施設に新入会員説明会案内チラシを設置したほか、地元FM局に月1回出演するなどメディアも活用しPRに努めました。

また、帯広市のごみ収集カレンダーや、市町連だより、FMラジオの番組表などに会員募集の有料広告を掲載し、啓発に努めたほか、「ジョブジョブとまちシニア」のお仕事説明会に出席し、センター事業や新入会員説明会の案内をしました。

(2) 就業率の向上

就業率を上げるために、生き生き通信に就業会員募集の記事とともに募集のチラシを配布し、会員に就業紹介を行いました。

公共関係の長期就業については、広く公募するとともに、特定の会員が継続的な就業とならないよう努めるとともに、適正かつ公平な就業の推進のためにグループ就業やローテーション就業を導入するなどワークシェアリングによる就業機会の拡大に配慮しました。

(3) 受注の拡大

地元メディアや広告を活用し、受注拡大に努めたほか、関係団体のイベントには出来るだけ参加しました。

また、独自事業のスケート教室は4年ぶりに実施しましたが、水泳教室はコロナの影響により中止となったほか、スキー教室については、会場となる嵐山スキー場が営業できなくなったことで中止しました。

(4) 安全就業対策

安全就業推進計画に基づき、「事故ゼロ」を目標に安全・適正就業委員会を中心に、安全パトロールや安全標語の募集など、安全対策の推進に取り組みましたが、残念ながら賠償事故が発生しました。

ア 安全パトロールの実施

7月に安全・適正就業委員会委員が、就業中の自衛隊宿舎の草刈現場を視察し、就業会員の安全保護具等の着用状況等について点検を行い、事故の未然防止を呼びかけたほか、事故発生現場1か所を視察しました。

巡回終了後に、気が付いた点などについて、改善策の協議を行いました。

イ 安全標語の募集

安全標語の募集は、9名から32作品の応募があり、安全・適正就業委員会において選考しました。

12月1日（金）に開催した安全就業講習会の前に表彰を行うとともに、応募作品は、訪れる市民や会員の目に触れるよう玄関・ロビーに掲示しました。

優秀作品 「就業は 無理せず あせらず 油断せず」
戸 出 峰 信さん
佳作 「作業前 周囲確認 先ず励行」
蒔 苗 信 夫さん
佳作 「安全は 時間と心に ゆとりもち」
柴 田 文 雄さん

ウ 安全就業推進強化月間の取り組み

7月の全国統一「安全・適正就業強化月間」には、交通安全旗の掲揚、横断幕・幟の掲示により、安全・安心の意識の高揚を図りました。

エ 機関紙による啓発

毎月発行の「生き生き」や年4回発行の「安全就業だより」の各号で屋外作業時の事故防止、冬期間特有の事故及び交通事故防止の留意点及び新型コロナウイルスの感染予防などの記事を掲載しました。

オ 事故の発生状況

傷害事故 1件

発生日	事故の内容
9・25	刈払機の刃がネットを持つ会員の手指に接触

賠償事故 4件

発生日	事 故 の 内 容
6・4	刈払機による太陽光パネル下のケーブルを破損
6・7	刈払機による駐車中の車両のリアガラスを破損
6・20	刈払機による駐車中の車両のリアガラスを破損
7・4	刈払機による駐車中の車両のサイドガラスを破損

(5) 組織の充実

地域班における役員のなり手不足と会員間の横の連携について課題があり、「生き生き」の中で班長の仕事、班会議等の開催について広く周知を図り理解を得るよう努めました。

職群班組織については、剪定・草刈・草取りなど連携、協力がとられ円滑な就業に繋がったものの新たに就業する会員も少なく後継者の育成が課題となっております。

(6) 財政基盤の確立

国並びに帯広市の補助金により、就業促進等の取組みを進めるとともに、補助金の増額、受注の拡大等それぞれ要請活動を行ったほか、適正な財政運営に努めました。

(7) 周知啓発活動の促進

ア ホームページ

随時最新情報の更新を行い、新入会員説明会の日程やスケート教室の開催についてなどを掲載し、市民の利便性の拡大に努めました。

イ ボランティア活動

春の動物園開園前の園内清掃は4年ぶりに参加しましたが、選挙の投票日と重なり、参加者が24名となりました。また独自事業の交通安全旗振りは降雨により中止となったほか、全市一斉交通死亡事故抑制街頭啓発は少人数での参加となりました。一般市民の高齢者向けのパソコン教室は中止しました。

ウ シルバーフェア

事業普及啓発月間の10月に第16回シルバーフェアを4年ぶりに開催しました。午前中の2時間のみの開催ではありましたが、総勢100人を超える方々にご来場いただきました。

(8) 各種講習会等の開催

草取り、剪定、草刈・芝刈講習会は例年通り開催したほか、宛名書き講習会や安全就業講習会、もっと知ろうシルバー研修会を4年ぶりに開催しましたが、パソコン教室は中止しました。

(9) 会報の発行

毎月発行のおびひろシルバー便り「生き生き」と広報紙「おびひろシルバー」の夏季号・新年号を発行しました。

「生き生き」は、センターからのお知らせや各種会議の実施状況、特殊詐欺の被害防止、確定申告などの最新情報を掲載しました。

「おびひろシルバー」は、センター事業や会員の活動状況など、身近な紙面づくりに努めました。

(10) 福利厚生事業の推進

会員親睦事業として、理事長杯パークゴルフ大会及び新年会を、4年ぶりに実施しました。

(11) 「すずらんの会」の活動状況

福祉施設に寄贈するおしりふきを作成するため、布切りを8月以降ほぼ毎月実施したほか、シルバーフェアの開催に協力しました。

3. 会 議 の 開 催 状 況

各種会議等の開催状況は、次のとおりです。

会 議 名		開 催 日	備 考	
定 時 総 会		5・5・30	報告事項 4 件・審議事項 3 件	
理 事 会		5・4・14	第 1 回 報告事項 3 件・審議事項 7 件	
		5・5・30	臨 時 審議事項 1 件	
		5・6・23	第 2 回 報告事項 3 件・審議事項 2 件	
		5・9・27	第 3 回 報告事項 3 件・その他 2 件	
		5・11・29	第 4 回 報告事項 3 件・審議事項 2 件・その他 1 件	
		6・2・19	第 5 回 報告事項 4 件・その他 1 件	
		6・3・12	第 6 回 報告事項 4 件・審議事項 5 件・その他 1 件	
理 事 会 専 門 部 会	総 務 部 会	5・7・21	第 1 回 事務分掌、福利厚生等	
		5・8・29	第 2 回 事務事業、福利厚生等	
		5・11・14	第 3 回 事務事業、配分金等	
		6・1・24	第 4 回 福利厚生、事務事業等	
		6・2・27	第 5 回 福利厚生、事務事業等	
	業 務 部 会	5・7・26	第 1 回 事務分掌、研修会、新規事業開拓等	
		5・9・21	第 2 回 事業実績、研修会、新規事業開拓等	
		5・10・31	第 3 回 長期就業等	
		6・2・2	第 4 回 事業実績、長期就業、新規事業開拓等	
		6・3・11	第 5 回 事業実績、実施計画等	
	啓 発 部 会	5・7・28	第 1 回 事務実績、啓発活動、シルバークフェア等	
		5・9・4	第 2 回 事業実績、啓発活動、シルバークフェア等	
		5・10・5	第 3 回 シルバークフェア等	
		6・3・4	第 4 回 新年度実施計画、シルバークフェア等	
	安全・適正就業委員会		5・7・18	第 1 回 事故発生状況、安全パトロール等
			5・8・25	第 2 回 安全標語、ペナルティ等
5・11・21			第 3 回 ペナルティ、安全就業講習会等	
6・1・19			第 4 回 安全・適正就業基準見直し	
長期就業調整委員会		5・10・31	第 1 回 就業者募集について	
		5・12・15	第 2 回 就業者応募状況と今後の作業について	
		6・1・12	第 3 回 面談について	

広 報 委 員 会	5・6・15	第106 夏季号 編集会議
	5・6・20	編集会議
	5・7・4	割付作業
	5・7・13	校正
	5・11・7	第107 新年号 編集会議
	5・11・28	編集・割付作業
	5・11・29	割付作業
	5・12・12	校正
地 区 長 会 議	5・4・5	令和5年度事業計画について 動物園園内清掃ボランティアについて 地域班組織について
地 区 長 ・ 班 長 会 議	6・2・15	令和5年度事業実績報告（12月末） 専門部会・委員会報告について 地域班の活動状況について 意見交換
監 査 受 審	5・4・10	令和4年度事業報告・収支決算
	5・8・4	令和5年度第1・四半期までの業務状況等
	5・11・8	令和5年度第2・四半期までの業務状況等
	6・2・14	令和5年度第3・四半期までの業務状況等

4. 事業の実績等

(1) 正会員の状況

ア 会員の異動

(単位：人)

区分	令和4年度末 会 員 数	令 和 5 年 度 中		令和5年度末 会 員 数
		入会会員数	退会会員数	
男	315	26	49	292
女	124	9	20	113
計	439	35	69	405

イ 年齢別会員数

(令和5年度末)

(単位：人)

区分	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上
男	0	5	28	73	94	92
女	0	4	12	33	42	22
計	0	9	40	106	136	114

ウ 職群別会員数

(令和5年度末)

(単位：人)

区分	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他
男	38	26	21	75	11	119	2	0
女	8	3	18	2	7	49	26	0
計	46	29	39	77	18	168	28	0

(2) 事業実績

ア 発注者別事業実績

区 分	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契 約 金 額	
			金 額(円)	左の割合%
公 共 事 業	84	3,925	31,888,966	21.5
一 般 企 業 等	841	15,094	74,298,718	50.1
個 人 ・ 家 庭	3,131	6,555	41,790,691	28.2
独 自 事 業	1	82	340,200	0.2
合 計	4,057	25,656	148,318,575	100.0

イ 職群別事業実績

区 分	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契 約 金 額	
			金 額(円)	左の割合%
技 術 群	3	102	491,765	0.3
技 能 群	1,022	1,961	17,409,952	11.8
事 務 整 理 群	247	490	1,818,474	1.2
管 理 群	14	3,467	25,378,272	17.1
折 衝 外 交 群	10	1,170	3,316,363	2.2
一 般 作 業 群	2,670	16,010	92,393,947	62.3
サ ー ビ ス 群	91	2,456	7,509,802	5.1
そ の 他	0	0	0	0.0
合 計	4,057	25,656	148,318,575	100.0

ウ 月別事業実績

月	会 員 数			受 託 件 数 (件)	就 業 実人員 (人)	就業延 実人員 (人)	就業延 日人員 (人日)	契 約 金 額			
	男 (人)	女 (人)	計 (人)					配分金 (交通費含) (円)	材料費等 (円)	事務費 (円)	計 (円)
4	299	116	415	232	235	574	2,686	9,820,182	145,860	1,155,953	11,121,995
5	292	116	408	541	223	949	2,509	11,891,760	865,496	1,149,901	13,907,157
6	286	116	402	754	236	1,542	3,346	16,943,319	2,339,431	2,258,291	21,541,041
7	287	119	406	652	231	1,283	3,104	15,454,116	2,277,316	2,464,269	20,195,701
8	287	118	405	603	232	1,230	2,832	14,308,526	1,660,847	1,350,349	17,319,722
9	288	119	407	681	239	1,358	3,104	15,140,798	1,919,295	1,403,741	18,463,834
10	288	118	406	494	213	886	2,419	12,010,158	1,083,279	1,224,542	14,317,979
11	290	117	407	226	183	381	1,588	7,008,317	179,303	1,337,496	8,525,116
12	287	114	401	153	124	238	977	3,218,099	4,800	331,158	3,554,057
1	290	113	403	154	128	229	959	3,143,254	25,600	1,034,516	4,203,370
2	292	113	405	166	128	230	1,063	3,354,823	53,855	1,751,945	5,160,623
3	292	113	405	143	137	238	1,069	4,133,918	2,001,607	3,872,455	10,007,980
計	—	—	—	4,799	2,309	9,138	25,656	116,427,270	12,556,689	19,334,616	148,318,575

(注) 受託件数は毎月の取扱件数を合計したものである。

エ 独自事業の実績等

事業名	実施期間	会場等	参加児童数	事業収入額(円)
水 泳 教 室	中 止			
スケート教室	自 令和5年10月10日 至 令和5年11月10日 (10日間)	帯広の森 第2アイスアリーナ	小学1年生 ～小学2年生 28名	340,200
ス キ ー ・ スノーボード 教 室	中 止			
合 計				340,200

才 年度別事業実績

年 度	会 員 数			就 業 実人員 (人)	就業率 (%)	受注件数 (件)	就業延 日人員 (人日)	契約金額 (円)
	男 (人)	女 (人)	計 (人)					
令和元年度	405	161	566	450	79.5	4,927	36,194	182,740,422
令和2年度	371	157	528	375	71.0	4,597	30,413	156,936,213
令和3年度	339	142	481	351	73.0	4,299	29,049	150,133,451
令和4年度	315	124	439	344	78.4	4,216	28,030	151,087,901
令和5年度	292	113	405	316	78.0	4,057	25,656	148,318,575

力 年度別事業実績（派遣）

年 度	受注件数（件）	就業延日人員（人日）	契約金額（円）
令和元年度	43	1,941	11,534,696
令和2年度	45	1,951	11,325,593
令和3年度	45	2,113	11,623,186
令和4年度	46	1,886	10,292,239
令和5年度	29	1,568	9,001,048